

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	5	生涯学習
5年後の まちな姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満たし、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちなになっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の 基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた 取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課	生涯学習課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	534,842	198,230			
事務事業数	16	16			
うち、事務事業評価対象	15	15			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	79	108	167				141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	8,629	4,646	22,502				24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	70	66	69				70
成果指標による 現状分析	<p>生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕については、コロナ禍で休止していたイベントや講座等を再開し、新たに定期的な講座等を追加した。</p> <p>生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕については、コロナ禍で休止や入場制限をしていたイベントや講座等を再開したため、参加人数の回復が見られた。</p> <p>月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕については、コロナ禍で停滞していた活動を再開した団体がわずかにあった。</p>							

3 施策の進捗状況

達成度	○概ね順調
評価の理由	◆コロナ禍により、数年間にわたって事業の自粛を余儀なくされてきた。また、自主的な活動団体は発表の機会が乏しくなり、新規会員の獲得も困難な状態が続き、一部の団体では高齢化等により活動が停滞してしまった。

4 取組の状況と今後の方向性

① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。 ・専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 ・イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ◆公民館や図書館等の社会教育施設を主な会場として、多くの市民が参加できるよう、生涯学習フェスティバルや美術展、陶芸教室等、多様なイベントや講座を開催し、生涯学習の場と機会を提供してきた。 ◆高齢者大学や教室等で専門知識のある方を招いて指導を依頼している。生涯学習フェスティバルでは文化団体のほかにも社会活動団体なども参加している。また、一部イベントでは手話を導入して参加者の拡大を図っている。 ◆市内在住の外国人を対象とした日本語教室は、実質的にボランティアによって運営している。また、ボランティアを対象にした研修会も開催している。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ◆多くの方に参加してもらうためには、魅力あるイベントや講座を企画することが必要となる。また、周知の方法も市報に加え SNS の活用など、対象となる世代に合わせた方法を駆使することが必要である。 ◆協働が可能な個人や団体等と関わる機会が少ないように思われる。事業目的のために協力していただける場合は積極的に働きかける必要がある。 ◆引き続きボランティアを主体に開催する予定だが、ボランティアから研修会の要望があり、新発田市との合同研修会を開催する予定である。 	

② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等“活動したい人”を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。 ・活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等、生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。 ・市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えるとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネーターを配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ◆要望があれば対応するものの、実績となるような例はなかった。 ◆毎年11月を生涯学習強調月間として、産業文化会館をメイン会場に開催している生涯学習フェスティバルでは、日頃の活動の発表の場として多くの団体が出展している。また、出展者同士や来場者との交流の場にもなっている。 ◆学校支援人材バンクとして生涯学習関係団体等を網羅したリストがあるので、必要に応じて活用する。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ◆意欲ある人を支援できるよう対応する。 ◆数年続いたコロナ禍による活動自粛で、生涯学習フェスティバルに参加できなくなった団体があつた。多くの団体が高齢化等の問題を抱えており何らかの支援が必要となっているが、具体的に効果的な解決策が見つからない状況にある。 ◆学校支援人材バンクの作成から数年が経過しているため、更新が必要である。 	

③ 活動拠点の整備

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習をはじめとする市民活動の拠点にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建て替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな複合的生涯学習施設の建設を目指して準備を進めている。建設に当たっては民間資本の導入（PFI/PPP方式）等も検討している。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ◆民間資本の導入（PFI/PPP方式）を視野に入れていることから、計画を具体化するまで様々な企業や関係団体と協議・検討をしていく必要がある。 	

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	◆市民の生涯にわたる学習意欲を啓発し、充実させるため、幅広い世代や属性を対象に生涯学習の場や機会となる多様なイベントや講座等を開催・実施する。また、開催・実施に当たっては意欲ある個人や文化団体等との協働を視野に入れながら事業内容を検討する。なお、文化団体では高齢化等の課題を抱えるところも多く、必要とされる支援を可能な限り行う。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5		R6		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
150110	文化活動促進事業	64	36	73	23	△	③	生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	2,129	1,585	3,041	2,551	△	③	生涯学習課
150112	産業文化会館事業	101,753	44,854	54,435	41,629	◎	②	生涯学習課
150113	鉢物・陶芸館運営事業	7,573	6,284	8,808	7,304	◎	③	生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	14,321	12,474	14,851	13,041	○	②	生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	11,830	6,362	13,817	7,046	△	②	生涯学習課
150116	市民講座学級事業	824	542	1,212	1,072	△	③	生涯学習課
150117	図書館管理事業	22,711	22,711	25,330	25,214	○	③	生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	5,361	5,348	8,335	6,033	○	③	生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	8,899	8,371	10,104	9,678	△	③	生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	11,902	11,822	13,604	13,386	○	③	生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,486	5,419	6,054	5,968	◎	③	生涯学習課
150210	社会教育振興事業	723	703	744	744	○	③	生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	1,716	1,595	1,786	1,676	◎	③	生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	299	299	428	428	×	②	生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150110	
事務事業名	文化活動促進事業	
担当課	生涯学習課	担当係 社会教育係
事業年度	令和5年度	担当者
基本政策	1 子育て・教育・学び	会計区分 一般会計
主要施策	5 生涯学習	大 15 生涯学習
		中 01 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供
		小 10 文化活動促進事業
事務区分	法定受託事務	自治事務
	法令による義務付け	任意
	○ 根拠法令	○ 関連法規
		関連計画 胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	冬フェスタ in 中央公民館や文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	文月コンサートの開催（7月） こどもおかし塾の開催（9月） 冬フェスタ in 中央公民館の開催（12月）
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	△			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍で中止していた文月コンサートを開催でき、冬フェスタ in 中央公民館で無料の教室を再開したことにより、参加者数は大幅に増えたが、目標人数には届かなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

冬フェスタ in 中央公民館については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止していた無料の講座を再開したことにより、参加者の増加につながった。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	41	64	73		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	20	28	50		
一般財源	21	36	23	0	0
人件費（千円）	251	323	0	0	0
正（h）※事業費	83	119	0	0	0
委任（h）※事業費	104	108	0	0	0
総事業費+人件費	292	387	73	0	0
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 28千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費 45千円				
算出方法	参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/参加者				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単位コスト	4,317円	1,375円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	冬フェスタ in 中央公民館において、教員のボランティアグループに各講座の指導の補助に参加いただいている。

7 事業の課題

文月コンサートにおいて、参加する音楽団体が固定化している。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①冬フェスタ開設講座数 ②文月コンサート参加団体数
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体
	実績	①5講座 ②0団体	①6講座 ②7団体		
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数
	目標	500人	500人	500人	500人
	実績	63人	261人		
	目標比	13%	52%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
	・文月コンサートについては、出演団体が固定化しつつあるため、音楽団体に出演依頼を引き続き行い、参加者の増加につなげる。 ・音楽団体以外の団体が活動の成果を発表や披露する機会を作る。また、得た知識を家庭や地域へ持ち帰り還元させる意識作りに取り組む。 ・子どもたちが今、どのようなことに興味を持ち、関心を示しているのかを把握し開催する講座のリニューアルにつなげる。				

9 二次評価委員会所見

成果指標の見直しを行うこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	陶芸研修所管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		06	社会教育費
			小	11	陶芸研修所管理事業		07	陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市陶芸研修所条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸講座の実施（年3回 春・夏休み（親子）・秋） 陶芸作品展の開催 陶芸研修所維持管理
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	3,102	2,129	3,041			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	573	544	490			
一般財源	2,529	1,585	2,551	0	0	
人件費（千円）	893	590	0	0	0	
正（h）※事業費	477	300	0	0	0	
委任（h）※事業費	0	30	0	0	0	
総事業費＋人件費	3,995	2,719	3,041	0	0	
財源「その他」内訳	陶芸教室材料費徴収金 338千円、陶芸教室参加費 206千円					
事業費の主な支出内容	陶芸講座指導委託料 1,722千円、土間改修工事 940千円、光熱水費 150千円、燃料費 12千円					
単位コスト	算出方法	参加者一人あたり収支（事業収入－総事業費（業務委託料除く））／参加者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		△8,772円	△4,686円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	
	目標	5回	5回	5回	5回	
	実績	5回	5回			
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
	目標	180人	180人	180人	180人	
	実績	92人	109人			
	目標比	51.1%	60.6%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	開催数の5回は達成されているものの、参加者数については、目標数に達していないため、やや達成されていないと判断した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 陶芸研修所敷地を参加者と協働で草刈りを実施した。 陶芸作品展の期間内において交流や親睦を図る座談会を開催した。 陶芸研修所に空調設備を取り付け、夕方に実施していた夏休み親子陶芸教室を午前中に変更した。
R5：土間改修工事

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	陶芸研修所及び敷地内の清掃、草刈りの補助。特に清掃に関しては参加者の方の意識も高く、自主的に率先して行ってくれている。

7 事業の課題

参加者の大半がリピーターであるため、新規の参加者の増やすための情報発信の強化が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
陶芸に魅力を感じているリピーターの参加者が大半を占めるため、新規参加者の紹介等周知をお願いする。講座参加者による作品展と講師を招いた交流の場を企画し、参加者の創作意欲の増進させる。					

9 二次評価委員会所見

<ul style="list-style-type: none"> 成果指標について、見直しを行うこと。 新規の参加者が参加しやすいよう取り組むこと。
--

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	×	×
	縮小	×	×	×
	休廃止	×	×	×
	削減	×	×	×
	縮小	×	×	×
	維持	×	×	×
	拡大	×	×	×
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	産業文化会館事業		事業年度	令和5年度	会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	目	項	06	社会教育費
			小	12	産業文化会館事業			05	産業文化会館費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意			関連法規		胎内市産業文化会館条例	関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会館自主事業の実施 ・会館維持管理 ・長寿命化計画に基づく施設改修工事
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 来場者数については、改修工事の影響も少なく、目標を大きく上回ることができた。自主事業に関しては、大人から子育て世代まで楽しめる事業を企画し、実施した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4]
 ・特定天井等改修工事（R3繰越）、舞台設備改修工事（R3繰越）、LED化工事、冷温水発生機更新工事、拡声設備放送架更新工事を行った。
 [R5]
 ・前広場インターロッキングの凹凸の解消、ホール空調機（未実施の冷温水ポンプ）、受水槽、機械排煙設備、火災報知器受信設備、非常用発電設備、受変電設備の更新を実施した。（61,717千円）
 [R5 自主事業]
 自衛隊音楽隊コンサート、映画GOZE上映会、NHK公開収録、鼓童交流公演、名作映画上映会、子ども向けサイエンスマジックショー、親子映画上映会などを実施した。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	433,450	101,753	54,435			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	360,100	47,500	0			
その他	5,229	9,399	12,806			
一般財源	68,121	44,854	41,629	0	0	
人件費（千円）	2,023	2,371	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業費 ※事業費 任用(h) ※事業費	1,080	1,266	0	0	0	
総事業費+人件費	435,473	104,124	54,435	0	0	
財源「その他」内訳	産業文化会館管理費負担金（商工会） 5,038千円、産業文化会館使用料 2,749千円、産業文化会館光熱水費負担金（商工会） 968千円、産業文化会館自主事業入場料 377千円、商工会用地賃付料 267千円					
事業費の主な支出内容	●施設整備工事 61,717千円、施設管理業務委託 15,774千円、光熱水費 10,064千円、空調設備保守業務委託 3,630千円、修繕費 2,007千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費+人件費）/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,673円	718円			

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	・自主事業の協働開催に向けた取組を検討する。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	310日	310日	310日	310日	
	実績	272日	320日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	20,000人	20,000人	70,000人	70,000人	
	実績	18,699人	55,744人			
	目標比	94%	279%			

7 事業の課題

・有料で行う市主催事業の集客が少なく、イベントの計画に苦慮している。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
課題	・課題となっていた大規模改修工事については、令和6年度に繰越した工事を完了することで、ホールの安全性や設備の信頼性が向上し安心して利用できる施設となる。 ・市主催事業については、大人から子育て世代まで楽しめる事業を企画し、今まで来館したことのない利用者にも足を運んでもらえるようにし、また来たいと思えるホールイベントを計画していく。また、有料で行う事業については、産業文化会館アドバイザー委員と協議の上、市民に興味や関心を持ってもらえる良質な文化事業を低価格で企画し、周知方法を検討することで利用者の増加を図る。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者	
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	款	10 教育費	
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供	予算科目	06 社会教育費	
			小	13	鉱物・陶芸館運営事業		09 鉱物・陶芸館費	
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例	
						関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリ作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営管理 常設展示及び企画展の実施 体験教室及び出張教室の実施
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	7,321	7,573	8,808		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	1,229	1,289	1,504		
一般財源	6,092	6,284	7,304	0	0
人件費（千円）	150	150	0	0	0
正(h) ※事業費	80	80	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	7,471	7,723	8,808	0	0
財源「その他」内訳	胎内クレストン博士の館入館料 805千円、胎内クレストン博士の館売店収入 282千円、胎内陶芸体験館体験料 202千円				
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託 5,027千円、光熱水費 1,180千円 終戦費414千円 消耗品費295千円 施設管理保守点検（警備・消防等）委託 276千円 売店材料費 159千円 使用料賃借料68千円 保険料64千円 通信運搬費 58千円 手数料36千円 燃料費10千円				
算出方法	①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費+人件費/利用者数）②利用者一人当たりの収支（（事業収入-（総事業費+人件費））/利用者数）				
実績	令和4年度 2749.7円	令和5年度 ①2531.06円 ②-2109.	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	105日	105日	105日	105日	
	実績	103日	102日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	2,717人	3,057人			
	目標比	90.6%	101.9%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 目標値3,000人に対し、実績は3,027人で、101.96%であり、目標値を達成している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 常設展示を一部新設した。 企画展示を実施した。 4月～11月に日を決めて地学専門家を招き、化石・鉱物解説案内を実施した。
--

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	鉱物の観察や採集活動等にかかわるボランティアがいることは望ましいが、現在のところ導入の目的は立っていない。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した結果、効率は改善されたが学校との連携や平日の団体利用の希望などを受入れにくくなっており、柔軟な対応が可能になるよう体制を考える必要がある（スタッフのシフト調整などである程度対応している）。 現在、地学・鉱物の専門員が常駐しておらず、外部から定期的に招いている。常駐できるようにすることが望ましい。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
<ul style="list-style-type: none"> 利用状況に応じた開館日を見直し、効率的な運営を行うことで、経費の削減を図っている。令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した。 様々な改善に取り組んできたものの、魅力的な展示への更新、積極的なPRなどを必要としている。鉱物採集ツアーの人気から一般市民の鉱物への関心、ニーズはあると思われる。 令和元年度からの開館日数を減少したことにより、算出指標の目標値を105日、成果指標の目標値を3,000人とした。 令和3年度より、日本自動車連盟（JAF）会員向けに入館料の優待割引を開始した。施設のPRの他、有料の体験メニューへのハードルが下がるなどの効果が期待できる。 専門員が不在となり、現在は月1～2回ほど外部から専門家を招いて展示や解説、質問などに対応しているが、専門員の常駐が望ましい。 					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	胎内自然天文館運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小	14	胎内自然天文館運営事業		目	10	文化教育交流促進施設費（胎内自然天文館）
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市文化教育交流促進施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	鹿山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観測等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や天文について紹介し解説や学習指導・体験活動により自然保護に対する理解を図る。 ・望遠鏡及び双眼鏡を活用し、昼間・夜間の観望会や出前教室を行う。 ・施設の管理をする。
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない ・夏の一大イベントである胎内星まつりが4年ぶりの通常開催であったこともあり、入館者数、売店収入ともに好調であった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4 実施事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事を実施した。 ・定期・特別観望会、望遠鏡づくり、星空のヨガ、初めての星空写真教室、自然観望会、冬季街角観望会を実施した。
【R5 実施事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨アーチ塗装工事、手摺塗装工事を実施した。 ・定期・特別観望会、望遠鏡づくり（3回）、星空のヨガ（2回）、星空写真教室、星座神話解説（4回）自然観望会（6回）、冬季街角観望会を実施した。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	21,106	14,321	14,851		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	8,600	0	0		
その他	1,574	1,847	1,810		
一般財源	10,932	12,474	13,041	0	0
人件費（千円）	1,217	1,184	0	0	0
正(h) ※事業費 ※事務任用(h) ※事業費	650	632	0	0	0
総事業費+人件費	22,323	15,505	14,851	0	0
財源「その他」内訳	胎内自然天文館入館料 1,014千円、胎内自然天文館売店収入 800千円、履親施設共通使用料 33千円				
事業費の主な支出内容	●施設整備工事 1,936千円、施設管理業務委託料 7,361千円、光熱水費 1,726千円、				
単位コスト	算出方法 (総事業費※+人件費)/入場者数 ※工事費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,949円	1,708円			

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	・観望会の解説指導員など専門スタッフの育成に向けた取組を検討している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・天文館は、天候に恵まれない状況でも展示物及び説明映像のみの見学が可能だが、主な用途は天体観測であることから、入館者数はどうしても天候に左右される。 ・天文館の立地条件や公共交通機関がないことから、交通手段を持たない層の誘客が難しい。
--

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	200日	200日	200日	200日	
	実績	199日	203日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	6,367人	7,249人			
	目標比	80%	90.6%			

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	②	②			
<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやタブレット端末を使った電子観望に対応したスマート望遠鏡を使用し、美しい天体を気軽に観察してもらいたい天体観測のきっかけづくりと興味の拡大を図る。 ・曇天や小雨でも開催可能なプログラムや屋内イベントを企画し、天文館のPRと市内外からの新しい層の集客を図る。 ・SNSを使った投稿やコミュニティ放送FMしばたの天文系新番組を担当し、宇宙や天体の魅力を伝え、天文館やイベントの周知・誘客を図る。 ・悪天候で観望会ができない場合を考慮し、あらかじめ好条件時にカメラやビデオで録画しておき、来館者に視聴してもらおう。 ・ホールの常設展示については、季節に合わせた装飾や雰囲気作り、天文情報等のパネルの展示など定期的に更新し飽きさせない工夫をする。 					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者		
事務事業名	昆虫の森運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小	15	昆虫の森運営事業		目	11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意			関連例規	胎内市昆虫の家条例	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 ・企画展の開催 ・ふれあい体験の実施 ・昆虫教室の実施 ・市内学校への出張教室や他団体との共催による事業等を実施
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	11,947	11,830	13,817		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	6,050	5,468	6,771		
一般財源	5,897	6,362	7,046	0	0
人件費（千円）	3,626	3,626	0	0	0
正(h) ※事業費	1,936	1,936	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	15,573	15,456	13,817	0	0
財源「その他」内訳	胎内昆虫の家使用料 3,878千円、胎内昆虫の家売店収入 1,584千円、昆虫教室参加料 6千円				
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 5,565千円 光熱水費 2,769千円 売店材料 1,296千円 消耗品費 692千円 手数料428千円 施設管理保守点検（警備・消防等）委託 359千円 使用料・賃借料 243千円 燃料費 111千円 保険料95千円 修繕費94千円 飼料費 83千円 印刷製本費12千円 公課費9千円				
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりのコスト（総事業費+人件費÷利用者数） ②利用者一人当たりの収支（事業収入-（総事業費+人件費））÷利用者数			
	実績	令和4年度 900.9円	令和5年度 ①1016.72円 ②-651.39円	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	226日	226日	226日	226日
	実績	226日	225日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	20,000人	20,000人	21,000人	21,000人
	実績	17,289人	15,202人		
	目標比	86.4%	76.01%		

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	△			
評価の理由	令和元年度から目標値を20,000人とし、令和5年度の実績は15,202人で、目標の76.01%であった。目標をやや達成していない。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・展示の改善、新規の生態展示をほぼ毎年行っている。 ・学校との連携、出張授業等について前年までの回数を維持した。（以上、いずれもコスト増加は無し）
--

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	施設ボランティアなどの導入が考えられるが、作業内容など検討すべき課題が多い。

7 事業の課題

<p>辺地債により旧館空調は令和3年度に更新工事が完了したが、全体的に施設、設備の老朽化は進んでおり、バリアフリー化、展示のリニューアルなども検討課題と言える</p> <p>様々な教育関連事業への連携、協力依頼は増える傾向にあるが、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者の増加を図る必要がある。</p> <p>展示リニューアルやバリアフリー化は具体的に検討する必要があるが、人員体制（主に専門員）と合わせて計画する必要がある。</p>
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
<p>人気施設であり、市のPR、観光、教育いずれにも有用な施設と言えるが、様々な教育関連事業への協力依頼は増える傾向にある一方で、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者の増加を図る必要がある。</p> <p>また、施設や設備の老朽化も大きな課題で、バリアフリー化や展示のリニューアルなどは今後の検討課題と言えるが、特に専門員の配置と合わせて計画する必要がある。</p>					

9 二次評価委員会所見

SNS等による情報を行い、集客に努めること。

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	市民講座学級事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小	16	市民講座学級事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け			任意			関連法規		
						関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、食に関する興味、関心を高めるため、マナビップ講座を開催する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学の開催 ・市民講座等の開催 ・日本語教室
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	590	824	1,212			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	84	282	140			
一般財源	506	542	1,072	0	0	
人件費（千円）	1,128	1,314	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※事業 ※任用(h) ※業務費	570	776	0	0	0	
	65	80	0	0	0	
総事業費+人件費	1,718	2,138	1,212	0	0	
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 152千円、教育振興費寄附金 130千円					
事業費の主な支出内容	時間外勤務手当 260千円、自動車借上料 191千円 消耗品費 179千円 講師謝礼 132千円					
単位コスト	算出方法	高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/延べ参加者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		2,590円	2,537円			

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	
	目標	4地区	4地区	4地区	4地区	
	実績	4地区	4地区			
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	
	目標	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人	
	実績	632人	815人			
	目標比	44%	56%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	△			
評価の理由	高齢者大学においては、コロナ禍による学生の参加控えから脱却し、参加者数は大幅に増加したが、目標人数には届かなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

高齢者を対象とした事業だけでなく、そば打ち教室や若年層をターゲットにしたパッチワーク教室、フラワーアレンジメント教室、子どもたちを対象としたワークショップなどを開催し、ふだんあまり公民館事業に参加することのない年齢層の利用者の増加に努めている。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	子どもたちを対象としたワークショップにおいて、ふだん公民館で活動している学習者に講師をお願いしている。学習者自身にとっても学習成果の還元の良い機会となっている。

7 事業の課題

若年層の公民館事業への参加を促すための事業、イベントの開催が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
より広範な年齢層の方々に参加していただけるような事業を展開する。また、外国人が自国の文化を発表し、交流できるような場をつくることも検討する。					

9 二次評価委員会所見

市民講座、日本語教室なども含めた成果が分かる産出指標及び成果指標に見直しを行うこと。

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	×	×
	縮小	×	×	×
	休廃止	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	図書館管理事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
			小	17	図書館管理事業		目	06	図書館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則				
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市図書館条例			関連計画	胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集及び保存 資料貸出（一人5冊まで、2週間） 土曜日、日曜日の開館 夜間開館時間の延長（火～金、19時まで開館） リクエスト制度 レファレンス 相互貸借（他館への貸出、他館からの借受） 団体貸出（小中学校等への貸出） 市内小中学校図書室の環境整備、読書指導等（担当の司書が巡回） 施設の維持管理
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数の他、来館者数などを見ても、感染症流行期からの回復傾向自体は見られる。ただし、コロナ禍前の水準にはまだ遠い。 施設のキャパシティに対して所蔵冊数が多すぎる状態。目標値は達成しているが、整理が必要。 				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

（令和5年度から）

- LINEと図書館システムの連携開始（令和4年度のシステム更新時に機能追加。アカウント連携している利用者には予約のお知らせなどがPUSH通知で行えるようになり、電話連絡などにかかる時間はやや減少した。）
- 「子育て応援メール」の終了（～R6.3.31）、及び「母子モ」運用開始に伴う、家庭向け図書館情報の配信方法の変更。（メールからアプリへの変更に伴い配信可能な情報量が増えることが見込めたため、書影などを載せられるおたより（PDF）を準備。実際の配信はR6.4.1から開始）

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	22,823	22,711	25,330		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	1,011	0	116		
一般財源	21,812	22,711	25,214	0	0
人件費（千円）	7,054	7,054	0	0	0
正(h) ※事業費 ※任用(h) ※事業費	3,766	3,772	0	0	0
※許年度任用(h) ※事業費	8,163	7,736	0	0	0
総事業費+人件費	29,877	29,765	25,330	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 9,720千円、図書 3,712千円、消耗品費 1,052千円、光熱水費 2,576千円、修繕費 100千円、図書館情報システム貸借料 2,662千円、図書館情報システム保守点検委託料 985千円、清掃業務委託料 988千円、施設管理委託料 500千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	読み聞かせボランティアの協力のもと毎月2回、館内での子どもに対する読み聞かせを行っている。

7 事業の課題

- これまでの実績値から、貸出冊数の減少傾向に変わりはないと考えている。まず、コロナ禍以前の水準（60,000冊前半）まで戻すことを課題とした上で目標値の達成を目指す。
- 施設は、耐震補強を行ったものの、施設の老朽化自体は進んでおり、また元々図書館として造られた建物ではないため、利便性や機能性も悪く、蔵書・書架の増加に伴い、全体的に手狭となっている。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数	年度末蔵書数	
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊	
	実績	88,258冊	90,472冊			
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	
	目標	70,000冊	70,000冊	70,000冊	70,000冊	
	実績	55,365冊	56,748冊			
	目標比	79.1%	81%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
これまでどおり、貸出利用の少ない年齢層（10代から20代）への働きかけを行うと同時に、従来の利用者層にも何らかの働きかけを行い、利用者数の底上げをしていく必要がある。また、施設の老朽化や現代のニーズに対応した機能面での不足もあることから、現在、図書館の代替となる複合施設の整備を検討中である。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	環境改善センター管理運営事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	5	生涯学習	中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	01 農業費
			小	18	環境改善センター管理運営事業		目	03 農村環境改善センター費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	関連例規		
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市築地農村環境改善センター条例、胎内市役所諸証明交付所条例		
					関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 諸証明交付 公民館事業の企画 図書館の貸出 地域住民の交流活動の場を提供
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 新型コロナウイルスの対策により中止となっていた事業の再開や、活動を自粛していた団体の活動再開により、利用人数が増加した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

地域住民が利用したいと思える施設を目指し、シニアカレッジや市民講座を実施した。市民講座では、定着しているおりがみ講座や新たに企画したクラフトバンド講座が人気となった。小中学生を対象に春休み無料開放を実施し、18名が利用した。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	6,419	5,361	8,335		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	2,200		
その他	392	13	102		
一般財源	6,027	5,348	6,033	0	0
人件費（千円）	3,156	3,090	0	0	0
正(h) ※事業費	1,685	1,650	0	0	0
委任(h) ※事業費	1,755	1,755	0	0	0
総事業費+人件費	9,575	8,451	8,335	0	0
財源「その他」内訳	環境改善センター使用料 13千円				
事業費の主な支出内容	会計年度職員報酬1,684千円、光熱水費867千円、施設管理業務委託料562千円				
算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単位コスト	1,071円	820円			

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	現状において協働実施を検討する案件はない。

7 事業の課題

施設の利用者が減少傾向にある。建築年数が40年を経過し、施設の老朽化が進んでいる。平成30年から令和3年までに屋上防水工事や多目的ホール天井の耐震改修工事等を行ったが、毎年修繕が必要な状況にある。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	243日	243日	243日	243日	
	実績	263日	288日			
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	
	実績	5,988人	6,519人			
	目標比	74.8%	81.4%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
長寿命化計画に基づいて、効率的で効果的な施設の延命化や長中期的な改修や更新等を行い、施設の維持管理及び運営の適正化に取り組む。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150119	
事務事業名	一般経費中央公民館	担当課 生涯学習課 担当係 社会教育係 担当者
基本政策	1 子育て・教育・学び	事業年度 令和5年度 会計区分 一般会計
主要施策	5 生涯学習	大 15 生涯学習 10 教育費 中 01 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供 予算科目 項 06 社会教育費 小 19 一般経費中央公民館 目 04 公民館費
事務区分	法定受託事務 自治事務 ○ 根拠法令 社会教育法 法令による義務付け 任意 関連法規 胎内市公民館条例 関連計画 胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 公民館事業の企画 社会教育団体に対する支援、育成 各種団体の事務局事務
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△			
評価の理由	利用者数は増加しているが、コロナ禍前の利用者数までは回復していない。利用団体の解散、団体内の会員数の減少などにより目標を達成できていない。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

利用の少ない中高年以下の世代を対象とした講座を開催し、公民館の新規利用者の増加に努めている。（親子そば打ち道場や子ども向けワークショップやお菓子作り、女性をターゲットにしたパッチワーク教室などの開催）

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	8,503	8,899	10,104		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	511	528	426		
一般財源	7,992	8,371	9,678	0	0
人件費（千円）	2,435	2,435	0	0	0
正(h) ※事業費	1,301	1,300	0	0	0
委任(h) ※事業費 ○	1,200	1,200	0	0	0
総事業費+人件費	10,938	11,334	10,104	0	0
財源「その他」内訳	中央公民館使用料 478千円、建物災害共済金 50千円				
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 2,650千円 会計年度職員報酬 1,735千円、光熱水費 1,419千円 清掃業務委託料 498千円、会計年度職員期末手当 337千円 暖房機取替工事 307千円 施設用備品 256千円 修繕費 217千円 会計年度職員社会保険料 200千円				
算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	656円	633円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	中央公民館で活動している団体の受講者に講師となってもらう事業を実施しており、自らの学習成果の還元の良い機会にもなっている。

7 事業の課題

新規利用者を増やすための事業の開催や活動団体内の会員減少に歯止めをかけるための支援が必要

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	360日		
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数
	目標	24,000人	24,000人	24,000人	24,000人
	実績	15,776人	17,015人		
	目標比	66%	71%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
	魅力ある講座を開設し、公民館になじみのない市民に利用してもらうことにより利用者の増加につなげる。 ・現在、老朽化した中央公民館と図書館の複合施設整備に向けプロジェクトチームで検討を重ねており、整備手法については、PPP/PFI事業(官民連携事業)の活用も含め検討中である。				

9 二次評価委員会所見

成果指標の見直しを行うこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	一般経費黒川地区公民館		事業年度	令和5年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15 生涯学習	予算科目	款	10 教育費	
主要施策	5	生涯学習	中	01 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項目	06 社会教育費	
			小	20 一般経費黒川地区公民館		項目	04 公民館費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法		
	法令による義務付け		任意		関連法規	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例		
					関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川展覧会の開催 ・ヤマボウシ大学の実施 ・施設の管理
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	産出指標の開館日数は達成したが、成果指標の利用者数が目標値を達できなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

事業の充実を図るべく、財源を確保し、施設の修繕を継続して行っている。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	11,076	11,902	13,604		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	250	80	218		
一般財源	10,826	11,822	13,386	0	0
人件費（千円）	3,527	3,527	0	0	0
正(h) ※事業費	1,883	3,766	0	0	0
会計年度 ※事業費	0	1,815	0	0	0
任用(h) ※事業費					
総事業費+人件費	14,603	15,429	13,604	0	0
財源「その他」内訳	黒川地区公民館使用料 80千円				
事業費の主な支出内容	会計年度職員報酬 1,724千円、光熱水費 2,991千円、施設管理委託料 993千円、施設整備工事 2,196千円、				
算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,740円	1,950円			

6 協働の状況

協働の状況	検討中
具体的な状況	これまで協働を検討してこなかったが、現在模索している。

7 事業の課題

施設の老朽化が著しく、建物の維持管理に係る経費が多くなっている。順次修繕を行っているが、追い付いていない。また、高圧受変電設備や非常用発電機等の改修が必要となるが、今後の施設利用と営繕のバランスを取りながらどうするか検討中である。また、他の公民館に比べてイベント・講座の実施回数が若干少ない。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	360日		
成果指標	名称	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数
	目標	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	8,393人	7,917人		
	目標比	93%	88.0%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
・築45年が経過し、建物及び設備の老朽化が著しく、最低限の施設改修など検討する。					
・ニーズを把握しイベント・講座の開催回数を増やす。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	社会教育振興事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目 款 項 目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		06	社会教育費
			小	10	社会教育振興事業		01	社会教育総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法		
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連法規	胎内市社会教育委員条例ほか	関連計画	胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	・社会教育関係団体の育成、支援及び補助金交付 ・社会教育関係事業等の検討、助言及び調査研究
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○			
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標については目標をおおむね達成しているが、今後も目標値の達成に努める。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

市民の意見を事業に反映させるため、社会教育委員からの意見を取り入れ、また、事業の運営等にもかかわってもらいながら、社会教育団体同士の情報交換や交流を図る事業を行っている。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	674	723	744		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	20	0		
一般財源	674	703	744	0	0
人件費（千円）	150	67	0	0	0
正(h) ※事務費 ※専任任用(h) ※業務費	80	36	0	0	0
総事業費+人件費	824	790	744	0	0
財源「その他」内訳	教育振興費寄附金 20千円				
事業費の主な支出内容	社会教育委員報酬 160千円、文芸たいない誌代 250千円、奥山荘郷土研究会誌 150千円、成年・婦人・文化団体補助金 53千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	社会教育委員との協働により社会教育認定団体間の連携促進（情報共有、問題解決など）のためのイベントを実施。

7 事業の課題

社会教育認定団体数について、現状、目標はほぼ達成しているが、団体の構成メンバーの高齢化や固定化が進んでいるため、今後減少が予想される。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数
	目標	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回		
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数
	目標	44団体	44団体	44団体	44団体
	実績	39団体	37団体		
	目標比	88.6%	84.1%		

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③	③			
市民のニーズを把握するとともに、社会教育委員に事業の運営等にも参加してもらうことで事業に対する意見いただき、それらを合わせ事業計画に反映させる。また、講座・イベントなどの実施については、社会教育団体を巻き込み、連携・協働することで団体の成長を促すことも併せて行う。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
成果の方向性	④	②	①	⑤	③	⑥	⑦	
コスト投入の方向性								

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者	
事務事業名	公民館文化振興事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		06	社会教育費
			小	11	公民館文化振興事業		04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画	胎内市教育振興基本計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展覧会の開催 ・ジュニア美術展覧会の開催 ・県展の開催
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎			
評価の理由	第18回胎内市美術展覧会の入場者数はコロナ禍前の水準まで回復した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

公開審査及び作品講評会を開催し、芸術鑑賞の機会の拡大を図った。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	1,629	1,716	1,786			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	124	121	110			
一般財源	1,505	1,595	1,676	0	0	
人件費（千円）	212	215	0	0	0	
正(h) ※事業費 ※任用(h) ※事業費	168	170	0	0	0	
総事業費+人件費	1,841	1,931	1,786	0	0	
財源「その他」内訳	美術展覧会出品料 121千円					
事業費の主な支出内容	パネル組立解体委託料374千円、運営委員謝礼360千円、印刷製本費305千円					
単位コスト	算出方法	来場者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/来場者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		663円	632円			

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	美術展覧会開催期間中、受付等の業務をボランティアで実施した。

7 事業の課題

運営委員の高齢化が課題である。運営委員の継続が難しいとの話も聞いており、市として後継者を探すなどの対応が必要である。また、出品者も同様に高齢化が進んでおり、出品数が減少傾向にある。周知方法を再検討するなど、新しい出品者が増えるように広報の方法を工夫する必要がある。
--

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	
	目標	4日間	4日間	4日間	4日間	
	実績	4日	4日間			
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	
	目標	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	
	実績	2,588人	2,858人			
	目標比	123.2%	136.0%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③			
運営委員の協力により1名の運営委員の交代を行った。各部門の中央公民館利用団体の代表者、市内高等学校及び近隣の美術関係の学校にポスター及び作品募集の案内を継続して行うことで出品者数の増加を図っている。					

9 二次評価委員所見

次回、県展の開催について、定住自立圏での開催等、より良い開催方法を検討すること。（継続）
--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者		
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
主要施策	5	生涯学習	中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
			小	12	生涯学習フェスティバル事業		目	02	生涯学習推進費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令		
	法令による義務付け			任意			関連例規		
						関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	参加団体で実行委員会を組織し、期間中に行われる文化・芸術・産業・スポーツなどの市民参加型生涯学習イベントを、産業文化会館を中心とする市内各施設で開催する。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	317	299	428		
国・県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他	0	0	0		
一般財源	317	299	428	0	0
人件費（千円）	676	706	0	0	0
正（h） ※事業費 ※事業 ※任用（h） ※業務費	○ 404	420	0	0	0
総事業費+人件費	993	1,005	428	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	印刷製本費 115千円、職員手当等 82千円、手数料 36千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	
	目標	10日間	10日間	10日間	10日間	
	実績	22日間	23日			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	
	実績	1,671人	3,284人			
	目標比	23.9%	46.9%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×			
評価の理由	コロナ禍で生涯学習活動を見合わせていた団体が活動を再開し、参加団体数はコロナ禍以前の水準まで回復したものの、期間が長いことで集客が分散してしまう点や、来場者側がまだコロナに警戒している点などが影響して来場者数が伸び悩み、目標値には達成しなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

コロナ禍明けで参加したいという団体が増え、日程調整の上、コロナ禍以前の規模での開催となった。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	参加団体が自主的に活動できるよう、市が前面に出るのではなく、協力しながらバックアップに回り、全体を補佐した。

7 事業の課題

時期的にイベントが多いため、土日の日程の確保が難しい。中でも企画展示室とホールは希望する団体が多く、別の部屋に移ることや類似イベントの同時開催を提案しても了承を得るのが困難であり、20日を超える長期の開催期間となっていることで、「フェスティバル」という特別感も薄れ来場者数が伸び悩んでいる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②			
11月を中心に行うフェスティバルではあるが、11月はフェスティバル以外にも産業文化会館を利用したい団体が多く、さらに、フェスティバル自体への参加団体も増加しており、期間が12月まで延長している。今後さらなる期間の延長も考えられる。企画展示室のスポットライトの使用を希望する団体が多いため、産業文化会館以外での展示方法の検討や開催時期の調整など、実施方法を見直す必要がある。開催期間が長期化することにより来場者が分散し、集客力の低下につながっていると考えられる。参加団体の同時開催や産業文化会館以外での実施など、期間を短縮するための協議・検討を進める。また、フェスティバル開催に当たっては、それぞれの参加団体が互いに連携・協力し、自主的に開催できる体制を構築する。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					